



114
A 3724



株式取引條例及米商會社條例改正ニ就テノ意見

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈

株式取引條例ハ即チ公債証書金銀貨幣取引ノ條例ニ
シテ英ノ「エキスキュージ」ノ條例佛ノ「グーパールス」ノ規則ニ
該ルモノナリ然リ而シテ英仏兩國ノ法制互ニ異ナルノ
點一ニシテ是ラス
第一佛ニ於テハ「グーパールス」ト稱スル官立ノ公館ヲ設ケ
テ内外國公債証書金銀貨幣及其材料諸株式ヲ賣買シ
其相場及ヒ海陸ノ運賃商品ノ相場ヲ定ムルノ所トシ
取引條例取締ノ法等總テ政府ヨリ之ヲ頒布ス英ニ於
テハ之レニ及シ内國ノ公債証書取引所「ロファイヤール
ストックエキスチェンジ」外國公債証書取引所「ホール
ンゲストックエキスチェンジ」商品取引所「ロファイヤール

エキスチェンジュ」ノ三ヶ所ヲ以テ佛ノ「デールス」ノ用ニ代
フ皆私立ノ結社ニ係リ敢テ官ノ檢束ヲ受ケス取引ノ
條例等モ多ク社負ノ申合規則ヨリナル
第二佛ニ於テ「デールス」ノ建築修繕保存ハ官ニ於テ之
ヲ擔當シ或ハ商人ニ對シ營業稅ノ割増ヲ賦課シテ其
費用ニ充テ或ハ人民ノ醵金（又）商法會議所ノ資産中ニ其
費用ヲ仰ク英ニ於テハ三種ノ取引所皆私立ノ結社ニ
係ルヲ以テ其家屋ノ建築保存ノ費用募集ノ法等固ヨ
リ官ノ與知スル所ニアラス
第三佛國ニ於テハ「デールス」ニ集會シテ前陳ノ取引ヲ
為ス手形仲買人「アジヤンドシヤンジュ」（商業世話人）
「クルチー」ハ官ヨリ之ヲ任免シテ其性質ハ商人タリト
雖氏体裁ハ官負ノ如ク彼ノ代唇代言人公証人ト同種

類ノモノトシ法律上仲買ヲ為シ及ヒ物價ノ相場（公債証券）
諸株式金ヲ証スルノ特權アリトス英ニ於テ取引所ハ
元來結社私立ノモノナレハ仲買「ジイバル、ブローカル」
タル者ノ官ヨリ其任免ヲ受クルニアラスレテ単ニ取
引所ノ社負「メンバル」タルノミ
第四仏ノ「デールス」ニハ仲買人ノ外商人タル者（婦人ヲ
除ク）モ集會スルヲ得ト雖氏英ノ取引所ニ於テハ該所
ノ社負ニアラサレハ出入スルヲ許サス
以上陳ゲル所ノ外猶ホ委曲ノ事ニ付異同アリ商法上
ノ事ニシテ英仏兩國ノ間ニ斯ク相違アルノ所以ハ畢
竟英國ニ於テハ古來商業上ノ事ニ政府ノ干與シ條例
規則ヲ設ケテ保護勸奨スルトナク專ラ人民ノ奮起ニ
依リテ今日ノ盛隆ヲ致セリ然リ而メ今日ニ在テハ英

國ノ商民ハ政府ノ保護勸奨ヲ要セス敢為進取ノ最良ナル慣習ヲ具フルニ因リ却テ政府ノ干与奨励ヲ以テ不利トシ政府モ之ヲ為サズ人民モ之ヲ好マサルノ情状アリ之レニ反對シテ他國ニ於テハ古來風俗ノ然ラシムル所カ商業上免角政府ノ干与保護勸奨ヲ要シ取引ノ條例ハ固ヨリ仲買人等組合中ノ紀律ニ至ルマテ政府ノ干与ナクシハ猶ホ商業社會ノ廣大ナル真利ヲ計ルヲ能ハサルナリ

本邦ノ所謂取引所タル結社私立ニ係ルノ所及ヒ取引ノ規則ヲ申合セ規則ニ讓ル等ノ所ハ多ク英米ニ倣フトルカ如シト雖モ商業社會ノ風儀等猶ホ未タ英米商民ノ地位ニ至ラサルヲ以テ暫ラク政府ノ干与ヲ要トスルヤ論ヲ俟タス是ニ因テ今般取引條例ヲ改正セン

トセハ其主義ヲ大ニ改正シ稍政府干与ノ幅ヲ擴フルテ弊習ノ原因ヲ絶ツヲ要ス其要點左ノ如シ

第一取引所ノ資本金ヲ大藏省ニ預クルヲ止ム

此預ケ金ハ事實何ノ保証ノタメカ彼ノ條例ニ言フ所ノ營業保証ノ為トハ頗ル漫然タル語ニシテ到底取引所ニテ何ニカ惡シキヲサセマシトノ保証タルニ過キス蓋シ仲買人ノ賣買取引ノ保証ノ為メニハ証拠金ナルモノアリテ違約ノ保証ニ供ス又取引所自ラ如何ナル惡事ヲ為シ得ヘキヤ條例第三十一條ニ取引所ハ大藏省ハ預クヘキ公債証昏ヲ除クノ外自ラ諸公債証昏諸株式等ヲ賣買スベカラス第三十二條ニ諸証拠金ヲ使用スベカラス又第三十條ニ他ノ事業ヲ営ムヘカラス

トアルニ依レハ取引所タル者ハ取引上ニ就テハ
取引ノ場所ヲ貸シ仲買人ノ取締ヲ為スノ外別ニ
営業ナキヲ以テ巨万ノ保証ヲ出サシムルノ理由
ナシ

第二仲買人ノ身元金ヲ取引所ニ出スノ法ヲ改メテ
其金高ヲ増シテ大蔵省ニ預ケシメ以テ彼カ賣買取
引ノ保証ニ供ス

身元金ハ仲買人ノ違約ヲ保証スルカ為メナリ僅
々百圓ニテハ不充分ナリ証拠金モ違約保證ノ為
メナリト虽モ之レハ日々ノ出入ヲ要スルモノナ
レハ大蔵省へ預ケシムルハ不便従前ノ如ク取引
所ニ預ケシメテ可ナリ又案ス身元金ヲ増セハ証
拠金ハ止メタル方簡便ナランカ

第三仲買人ハ大蔵卿ニ於テ其任免ヲ掌ルヲトス
斯ノ如クスルハ人品ヲ選ヒ負數ヲ限ルヲ得
随テ取締ノ宜キヲ得

第四仲買人自己ノ為メ賣買スルヲ禁ス

現行ノ條例第十五條取引所ノ承認ヲ得テ自ラ株
式賣買ノ取引ヲ為スモノヲ仲買人ト称ストノ明
文ニ依レハ仲買人他人ノ依頼ヲ受ケテスルハ却
テ變則ニシテ自己ノ為メニスルヲ以テ正則トシ
タリ實ニ仲買人ノ名実相反シタルモノナリ空相
場ヲ為シ取引高実用ヲ超過シ相場ニ非常ノ騰貴
ヲ生スルノ弊多クハ仲買人ノ名実相反シタルニ
原因ス

第五方今取引所ノ株主ヲ解キ仲買人ノ組合ヲ立テ

之レニ取引上ノ差違レ違約者ノ處分及ヒ仲買人ノ
紀律ヲ司ラシム

前數條ノ主旨ヲ以テ改正ヲ為スルハ方今ノ取引
所ノ株主タル者ハ到底取引所タル家屋ノ貸主々
ルニ過キス之ヲ解キ家屋ハ仲買ニテ建設スルカ
又ハ他國ノ例ニ依リ官ヨリ貸渡スヘシ取引上ノ
差違レヲ和鮮シ違約者ヲ處分スルハ仲買人組合
中ノ年長老練ノ者ノ適任トス

第六金銀貨及ヒ米穀ノ定期賣買ヲ禁ス

定期賣買タル正当ニ行ハルレハ其利鮮ナカラス

ト雖氏今日ノ實況ニテハ利害相償フニ足ラス

第七仲買人ニ附スルニ公債証券諸株式賣買ノ特權
ヲ以テシ人民私ニ賣買スルヲ禁ス

前第二項第四項ノ如キ制限ヲ立レハ一面以テ取
引ノ特權ヲ與エサレハ仲買人ニ對シ過酷ナルノ
ミナラス一般ノ利益ノタメ富有實着ナル仲買人
ヲ得ルヲ難シ

第八政府ニテ取引所ノ警察ヲ嚴ニシテ犯則者ノ求
刑ヲ密ニス

方今取引所ノ監察犯則者ノ處分ハ皆取引所役負
ノ任タルヲ以テ彼條例ノ末條ニ掲クル罰則ノ如
キモ徒法ニ屬シテ行ハレス但シ罰則ノ不備不明
ニ依リテ行ハレ難キ所ナキニアラスト雖モ要ス
ルニ取引上ノ警察ヲ人民ニ委託スルニ是レ因ル
宜シク官吏ヲ取引所ニ派出シテ前第五項ニ陳フ
ル仲買人組合ノ職任ヲ監督セシムヘシ

佛國ニ於テハ「コンミセールドブールス」警察官トテ專任ノ警視官吏ヲ派出シテ仲買人組合頭取ノ職任其他取引上ノ總監督ヲ為スナリ
前數項ニ陳フル所ハ改正主義ノ概略ナレハ彼ノ條例逐條ノ審査即チ改正ニ着手ノ前ニ於テ議定スルヲ要トス自然幾分ノ御裁可ヲ蒙ラハ幸甚頓首謹言

十二年十二月

山崎直胤



大
卷